

作成日 府省庁情報セキュリティ部門名・責任者名^{注1}担当課室名・責任者名^{注2}

担当課室名・担当者名

確認事項

- 評価対象サービスにおいて取り扱う業務・情報について、ISMAP-LIU 業務・情報の影響度評価基準ならびにガイダンス、対象 SaaSのセキュリティに係わる情報、また標準ガイドラインが定める「現状の把握と分析」を踏まえ、適切な粒度で列挙し、それぞれの業務において取り扱う情報について、影響度評価を実施した。
- 評価対象のサービスの利用ににおいて、影響度評価において列挙・分析・評価した業務・情報のみを取り扱う事を確認した。

注1：統一基準の観点では、「統括情報セキュリティ責任者」の下で組織全体の情報セキュリティを見る部門（情報セキュリティ担当部門）の「課室情報セキュリティ責任者」を想定。

注2：統一基準の観点では、実際にSaaSを調達・利用する担当課室における「課室情報セキュリティ責任者」を想定。

SaaSの機能

SaaSの機能に係わる情報については、別途、適切な公開情報やリーフレット等について事業者より提供を求めること。

SLA・SLO等に係わる情報

サーバの所在地並びにデータの保存場所

外部サービスの利用とそのISMAP登録有無

提供されているセキュリティ機能

| | |
|---|--|
| □ | クラウドサービス事業者は、クラウドサービス利用者に対し、当該利用者の資産(バックアップを含む)を管理するため、次のいずれかを提供している。 (a)当該利用者の管理する資産を、記録媒体に記録する(バックアップを含む)前に暗号化し、当該利用者が暗号鍵を管理し消去する機能 (b)当該利用者が、当該利用者の管理する資産を記録媒体に記録する(バックアップを含む)前に暗号化し、暗号鍵を管理し消去する機能を実装するために必要となる情報 |
| □ | クラウドサービスのユーザによるクラウドサービスへのアクセスをクラウドサービス利用者が管理するため、クラウドサービス事業者は、クラウドサービス利用者に、ユーザの登録及び登録削除の機能及び仕様を提供している。 |
| □ | クラウドサービス事業者は、クラウドサービスのユーザのアクセス権を管理する機能及び仕様を提供している。 |
| □ | クラウドサービス事業者は、特定したリスクに応じて、クラウドサービスの管理能力にあわせたクラウドサービス利用者の管理者認証に、十分に強固な認証技術を提供している。 |
| □ | クラウドサービス事業者は、クラウドサービスへのアクセス、クラウドサービス機能へのアクセス、及びサービスにて保持されるクラウドサービス利用者のデータへのアクセスを、クラウドサービス利用者が制限できるよう、アクセス制御を提供している。 |